エクセルパスワード施工ツール

PowerLockn

取扱説明書

Ver1.00

～　目次　～

第一章　概要

この度は PowerLockn をお選びいただき、誠にありがとうございました。本ツールはエクセルファイル（xls、xlsx）にランダムなパスワードを自動施工し、本ツールを介してのみファイルを開くことができるようにするセキュリティーツールです。

1.1　システム動作イメージ

1.2　オープン許可 PC の範囲

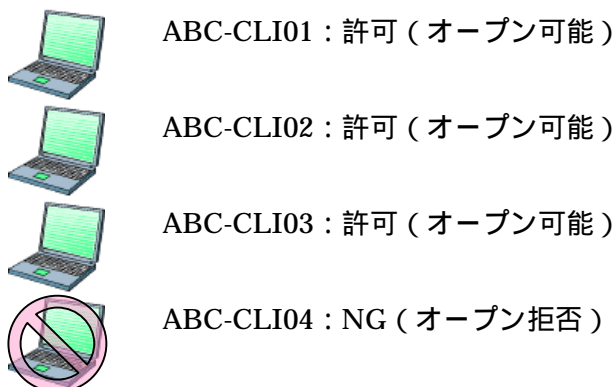
フリーウェア版では、最初にパスワードを仕掛けた PC（最初にパワーロックンにエクセルファイルをドロップした PC）でのみ、再度パワーロックンにドロップするとオープンすることができましたが、本ツールでは、オープンを許可する PC 名をパスワード施工時に指定することで、任意の PC でのみファイルをオープンすることができるようになります。　ファイルごとにオープン許可 PC を設定できます。

【許可 PC 指定】
ABC-CLI01
ABC-CLI02
ABC-CLI03

ABC-CLI01：許可（オープン可能）

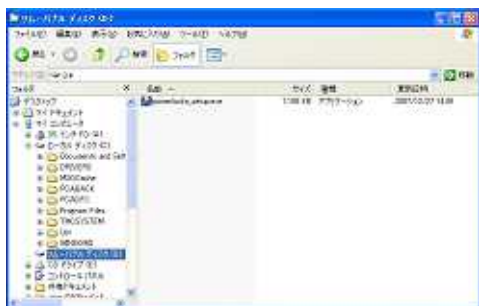
ABC-CLI02：許可（オープン可能）

ABC-CLI03：許可（オープン可能）

ABC-CLI04：NG（オープン拒否）

第二章　インストール手順

2.1　インストールの準備

お手元にインストールＣＤをご用意いただき、下記手順にて操作してください。また、本ツールを動作させるには Excel が必要ですので、あらかじめインストールしておいてください。

2.2　インストール手順

（１）
インストールするＰＣにＣＤをセットし、「PowerLockn_Setup.exe」をダブルクリックし起動します。

※パーソナル版は「Powerlocknp_Setup.exe」となります。

（２）
インストールウィザード画面が表示されますので、［次へ］ボタンを押下します。

（３）
仕様許諾ページが表示されますので、ご確認後［次へ］ボタンを押下します。

（4）

［ユーザー名］、および［会社名］を入力し、［次へ］を押下します。

（5）

インストール先指定画面が表示されますので［次へ］を押下しますとファイルの展開が始まります。

※この処理は数分かかる場合があります。

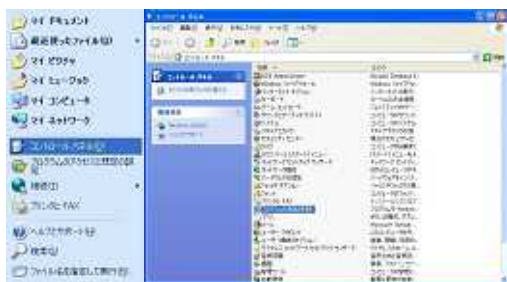
（6）

インストール完了画面が表示されますので、［完了］ボタンを押下し、インストールを終了します。

（7）

デスクトップに「パワーロックン」のアイコンが表示されていればインストール完了です。

第三章　アンインストール手順

アンインストール手順を以下に示します。アンインストールでは正しい順序でアプリケーションの削除を行ってください。本説明書では、WindowsXP での画面例となります。

（1）

［スタート］－［コントロールパネル］－［プログラムの追加と削除］をダブルクリックします。

※Windows2000 では［アプリケーションの追加と削除］となります。

（2）

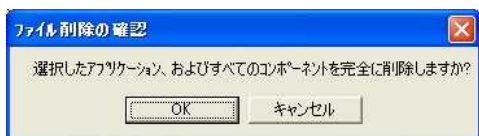
［パワーロックン］を選択し、［削除］ボタンを押下します。

（3）

左記の画面が表示されますので、［削除］を選択し、［次へ］を押下してください。

ﾌｧｲﾙ削除の確認

選択したｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ、およびすべてのｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄを完全に削除しますか?

OK　キャンセル

（4）

削除確認が表示されますので、［OK］を押下します。

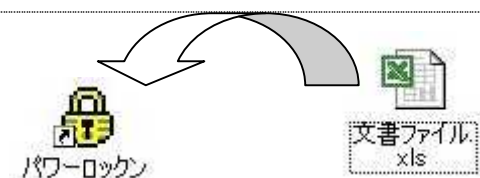
※この処理は数分かかります。

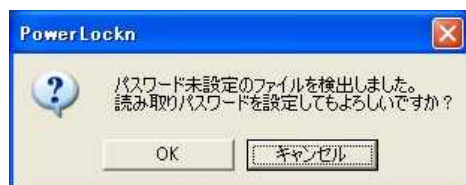
（5）

メンテナンス完了画面が表示されますので、［完了］ボタンを押下し、アンインストールを終了します。

第四章　操作方法

4.1　パスワードの施工方法

パスワードの施工は次のように操作します。

（1）

パスワードを施工したいファイル上でマウスの左クリックを押下したまま、パワーロックンアイコン上に移動し、左クリックを離します。（ドラック、ドロップ操作）

（2）

パスワードが設定されていない場合、左記の画面が表示されますので、［OK］を押下します。

※パスワードが既に施工されている場合は、表示されません。

（3）

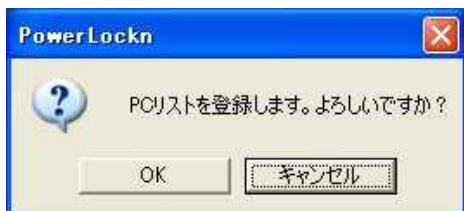
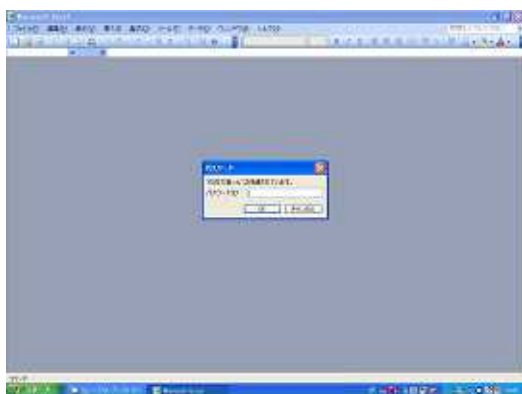
オープン許可 PC の範囲を指定します。

現在の PC でのみオープンできるようにするには、［いいえ］を押下します。その他の PC でもオープンできるように指定したい場合は、［はい］を押下します。

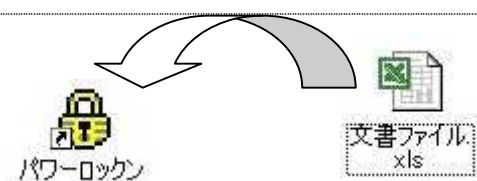
※［いいえ］を選択した場合は、パスワード施工処理に移り、パスワードが施工されます。

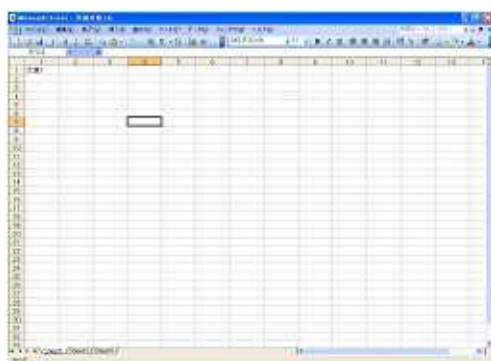
（4）

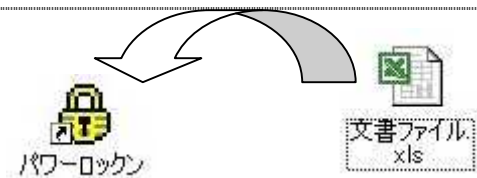
オープン許可 PC の指定画面が表示されますので、オープン許可する PC 名を黄色の部分に指定し、［→］ボタンを押下することで、右側のリストに登録されます。

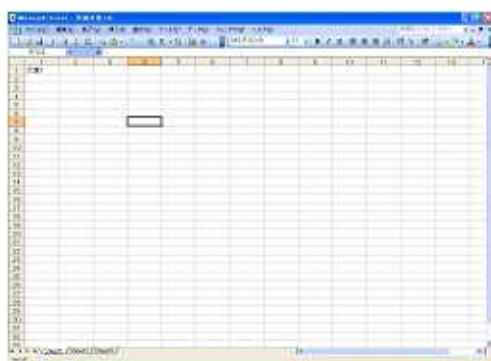
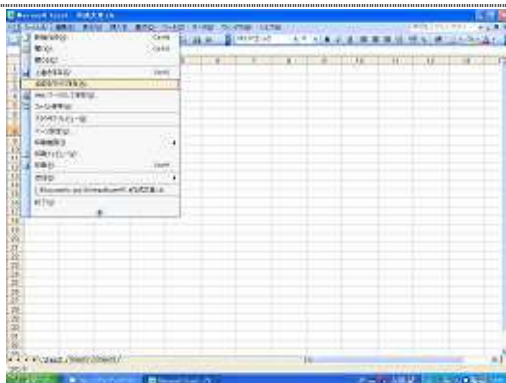
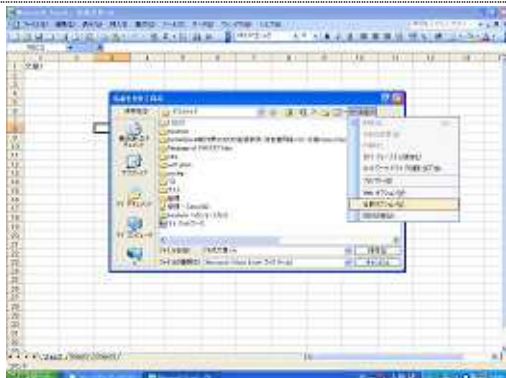
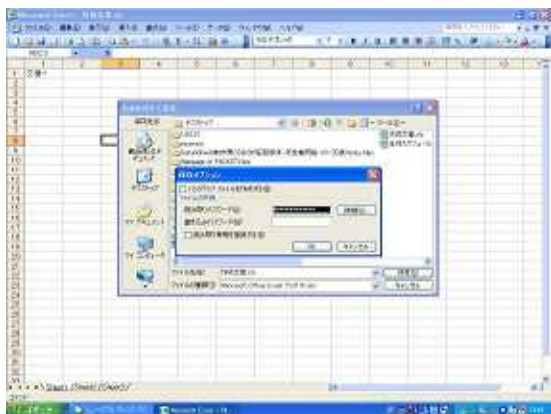
登録が終了したら、［許可 PC リスト登録実行］ボタンを押下します。

（5）
リストに間違いがければ［OK］ボタンを押下することで、パスワードが施工されます。

（6）
パスワード施工後は直接ファイルを開いた場合、パスワードの入力画面が表示され、ファイルの中を見ることができません。

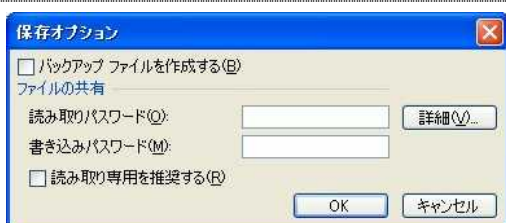
これでパスワードの施工は完了です。

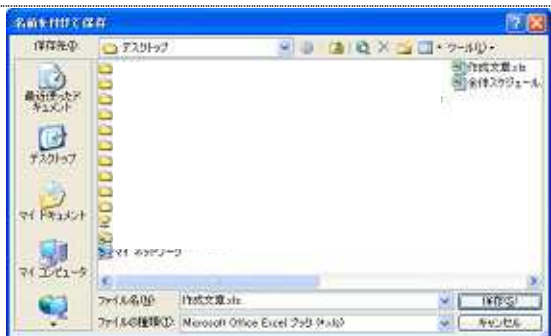
4.2　ファイルのオープン方法

（1）
パスワードが施工されたファイル上でマウスの左クリックを押下したまま、パワーロックンアイコン上に移動し、左クリックを離します。（ドラック、ドロップ操作）

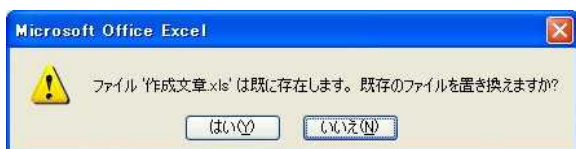
（2）
オープン許可 PC 上であれば、そのままエクセルファイルが開きます。

※パスワードが施工されていない場合は、表示されません。

4.3　許可 PC リストの変更方法（追加・削除）

（1）
許可 PC を追加したいファイル上でマウスの左クリックを押下したまま、パワーロックンアイコン上に移動し、左クリックを離します。（ドラック、ドロップ操作）

（2）
オープン許可 PC 上であれば、そのままエクセルファイルが開きます。

※パスワードが施工されていない場合は、表示されません。

（3）
Excel の［ファイル］メニューより、［名前を付けて保存］を選択します。

（4）
［ツール］の［全般オプション］を選択します。

（5）

保存オプション画面が表示されますので、［読み取りパスワード］の欄に「***」が表示されているところを消して、パスワードを一旦解除します。

（6）

［読み取りパスワード］を削除したら、［OK］ボタンを押下します。

（7）

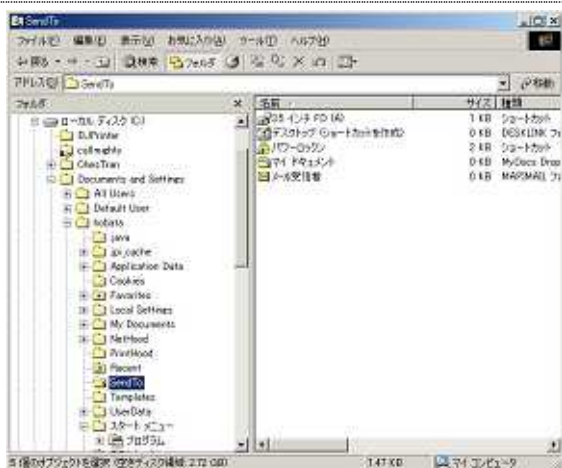
ファイルの名称はそのままとして、［保存］ボタンを押下します。

（8）

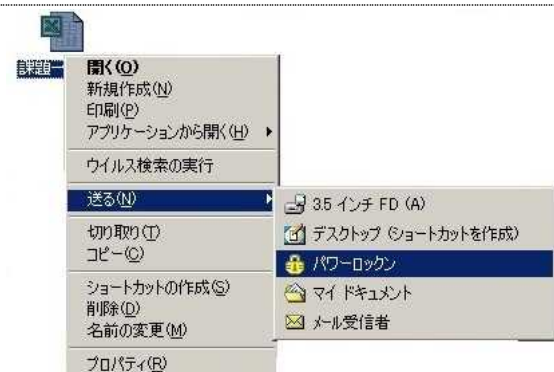
上書き確認のメッセージが表示されますので、［はい］を押下することで上書きします。

（9）

4.1 のパスワード施工方法と同様に、もう一度パスワードの施工操作を行うと、以前登録していた PC リストが表示されますので、追加および削除を行い、［許可 PC リスト登録実行］ボタンを押下します。

4.4　操作性の向上

デスクトップのアイコンへのドロップでは他のウインドウに隠れてしまい操作性がよくありません。
右クリックのスピードメニューで簡単にパワーロックンにドロップできる方法をお伝えします。

（1）
デスクトップに作成されている「パワーロックン」のショートカットを以下に配置（コピー）します。

C:¥Documents and Settings¥[ユーザー名]¥SendTo¥

（2）
エクセルファイルを右クリックし［送る］－［パワーロックン］と選択しますと、施錠、開錠が簡単に行えます。

第五章　エラーメッセージと対処方法

ドロップしたファイルの拡張子が xls や xlsx ではない場合に表示されます。ショートカットなどをドロップした場合に表示されますので、ファイルそのものをドロップして下さい。

オープン許可指定されていない PC で、パワーロックンにファイルをドロップすると表示されます。パスワードを一旦削除して、もう一度オープン許可 PC リストを確認してください。

※　詳しくは 4.3 許可 PC リストへの追加を参照ください。

Excel がインストールされていない PC でファイルをドロップした場合に表示されます。Excel をインストールしてください。

注意事項（必ずお読みください）

1）パスワード解除サービスなどにより解除される場合があります。

2）ツールの性質上、パスワードのお問合わせにはお答えできません。

3）ファイル名やコンピューターの PC 名を変更した場合はパスワード解除ができなくなることがあります。（フリーメールの添付で転送する場合、稀にファイル名に半角スペースが入り、開錠できなくなる場合がありますが、半角スペースを除去してからパワーロックンにドロップして下さい。）

4）事故防止のためにエクセルファイルはバックアップしてからご利用いただくことをおすすめします。

【開発元】

ソフトマティック株式会社

〒105-0014　東京都港区芝 3－14－6

TEL:03-5419-2567　FAX:03-5419-0996

URL:http://www.softmatic.co.jp/

Mail:info@softmatic.co.jp